

第2学年 書写 年間学習計画 (計 20時間)

学期	月	単元名	学習目標	時間	主な評価規準	評価方法	
						作品	観察
1	4	学習のはじめに	・一年で学習した行書の特徴を確認する。	1	・一年で学習した行書の特徴を確認しようとする。(関心)	○	○
	5	行書を書こう	・行書の特徴(点画の連続・変化)に気をつけ、字形を整えて、「詩集」を毛筆で書く。 ・行書の特徴(点画の連続、点画の変化、筆順の変化)に気をつけ、字形を整えて「国際社会」を毛筆で書く。	2	・行書の特徴に気をつけ、字形を整えて、「詩集」を毛筆で書いている。(言語) ・行書の特徴に気をつけ、字形を整えて「国際社会」を毛筆で書いている。(言語)	○	○
	6	行書と仮名を書こう	・行書と仮名の調和に気をつけ、字形を整えて、「流れる雲」を毛筆で書く。 ・行書に調和する仮名の特徴を理解し、字形を整えて、平仮名「五十音」を毛筆(小筆)で書く。	3	・行書と仮名の調和に気をつけ、字形を整えて、「流れる雲」を毛筆で書いている。(言語) ・行書に調和する仮名の特徴を理解し、字形を整えて、平仮名「五十音」を毛筆(小筆)で書いている。(言語)	○	○
	7	行書と仮名を書こう	・行書と仮名の調和や配列・配置に気をつけ、字形を整えて「確かな成長」を毛筆で書く。 ・行を整え、配列よく、行書に調和する仮名の書き方に気をつけて、『枕草子』を硬筆で書く。	2	・行書と仮名の調和や配列・配置に気をつけ、字形を整えて、「確かな成長」を毛筆で書いている。(言語) ・行を整え、配列よく、行書に調和する仮名の書き方に気をつけて、『枕草子』を硬筆で書いている。(言語)	○	○
2	9	楷書と行書を書こう	・場面に応じた楷書と行書の使い分けが必要なことを理解する。 ・尾道市芸術祭作品とする。	2	・場面に応じた楷書と行書の使い分けが必要なことを理解している。(関心)	○	○
	10		・楷書に調和する仮名の書き方や配列・配置に気をつけ、字形を整えて、「親しい友」を毛筆で書く。	2	・行書の特徴に気をつけて毛筆を書いている。(言語)	○	○
	11		・楷書に調和する仮名の書き方や配列・配置に気をつけ、字形を整えて、「親しい友」を毛筆で書く。 ・行を整え、配列に気をつけて、『走れメロス』を硬筆で書く。	1	・楷書と仮名の調和や配列・配置に気をつけ、字形を整えて「親しい友」を毛筆で書いている。(言語) ・行を整え、配列に気をつけて、『走れメロス』を硬筆で書いている。(言語)	○	○
3	1	生活に広げよう	・全体の調和を考え、配列・配置に気をつけて、好きな言葉や文章を書く。	2	・全体の調和を考え、配列・配置よく書いている。(言語)	○	○
	2		・毛筆書写の学習の成果を生かし、書き初めを書く。	2	・毛筆書写の学習の成果を生かし、書き初めを書いている。(言語)	○	○
	3		・これまでの学習を生活に広げる力をつける。	1	・これまでの学習を生活に広げる力がついている。(関心)	○	○